

未来の巨匠に注目!
いよいよ開幕する、期待の新企画

ピアノ・エトワール・シリーズ

Piano Étoile Series

21世紀を担う若い才能に未来への希望を託して幕を閉じた「ピアニスト100」を受け継いで、新たに始まるのが、「ピアノ・エトワール・シリーズ」。若いピアニストのなかでも、特に今後の活躍が注目を集めるに違いない4人の“未来の巨匠”たちが、「今弾きたい曲」を集めたプログラムを聴かせる。それぞれの聴きどころをご紹介します。文・森岡 葉（音楽ライター）

ピアノ・エトワール・シリーズに最初に登場するのは2005年のショパンコンクールの覇者ラファウ・ブレハッチ。ショパンの祖国ポーランド待望の新星だ。昨年の来日ツアーでは、ショパンその人を思わせるような繊細でナイーブな容姿、詩情溢れる演奏で各地の聴衆を魅了した。常に謙虚な姿勢で作品に対峙し自身の音楽を追求している彼は、今回私たちにどのような演奏を聴かせてくれるのだろう。透明感のある美音で作曲家の内面に迫る瑞々しい音楽を堪能させてくれるに違いない。

第2回に登場するイリヤ・ラシュコフスキーは、ロシアの若き俊英。2002年の初来日の際のショパン《ピアノ協奏曲第2番》の抒情豊かな演奏に鮮烈な印象を受けた。今回のプログラムは彼の魅力が最も発揮されるロマン派の珠玉の作品。爽やかな笑顔と洗練されたピアニズムに誰もが魅了されることだろう。

第3回はイスラエル出身の異色のピアニスト、デイヴィッド・グレイルザンマー。一昨年の横浜市招待国際ピアノ演奏会で聴いたモーツァルトのコンチェルトの柔らかな弱音の美しさは忘れることができない。今回は、バッハ以前のオランダのオルガン奏者スウェーリンクから現代作曲家の作品まで、多彩なプログラムでピアノの魅力を再発見させてくれそう。

今年最後のシリーズを飾るのは日本期待の大型ピアニスト、小菅優。昨年のザルツブルグ音楽祭のリサイタル・デビューの成功で、世界中の注目を集めている23歳。ドイツで研鑽を積んだ彼女が原点に戻って奏でるバッハ、超絶技巧と深い精神性を聴かせるリスト、澁刺とした伸びやかな演奏を楽しませてくれることだろう。

Vol.1

ラファウ・ブレハッチ

Rafal Blechacz

【日時】6月17日(日) 開演 16:00

【会場】彩の国さいたま芸術劇場 音楽ホール

【曲目】J.S. バッハ:イタリヤ協奏曲 BWV971

リスト:(3つの演奏会用練習曲)より(軽やかな)

(2つの演奏会用練習曲)より(森のざわめき)、(小人の踊り)

ドビュッシー: 版画

ショパン: 舟歌 Op.60、24の前奏曲 Op.28

【発売日】4回セット券・1回券とも発売中

PROFILE

1985年ポーランド生まれ。2003年浜松国際ピアノコンクール第2位(1位なし)、04年モロッコ国際ピアノコンクール優勝。05年ショパン国際コンクールではツィメルマン以来30年ぶりのポーランド人優勝と同時に、マズルカ賞、ポロネーズ賞、コンチェルト賞の3特別賞受賞。現在、ナワヴェジスキ音楽大学でK. ボボヴァ=ズイドロンに師事しながら、ヨーロッパを中心に演奏活動を行っている。

<http://www.blechacz.net/>

©K. Miura

Vol.2 Ilya Rashkovskiy



イリヤ・ラシュコフスキー

【日時】9月8日(土) 開演 14:00

【会場】彩の国さいたま芸術劇場 音楽ホール

【曲目】シューベルト:4つの即興曲 Op.90 D899

ブラームス:バガニョーニの主題による変奏曲 Op.35

スクリャーピン:幻想曲 口短調 Op.28

ワーグナー=リスト:イゾルデの愛の死(《トリスタンとイゾルデ》より)

バラード・紡ぎ歌(《さまよえるオランダ人》より)

幻想曲(《リエンツィ、最後の護民官》より)

【1回券発売日】メンバーズ 5月26日(土) 一般 6月2日(土)

PROFILE 1984年ロシア、シベリアのイルクーツク生まれ。98年にクライネフ国際コンクールに優勝し、2000年よりドイツ・ハノーファー音楽学校でV. クライネフに師事。01年ロン=ティボー国際音楽コンクール第2位、翌年サントリーホールでの同コンクールガラ・コンサートのため初来日。04年2月には日本各地でリサイタルを開催、音楽性の高さと卓越した技巧で好評を博した。05年香港国際ピアノコンクール(審査員長:アッシュケナージ)で優勝。

Vol.3 David Greilsammer



デイヴィッド・グレイルザンマー

【日時】11月23日(金・祝) 開演 14:00

【会場】彩の国さいたま芸術劇場 音楽ホール

【曲目】スウェーリンク:わが青春はすでに過ぎ去り

ケレン:ファンタジー、とはいえ2つのファンタストロフ(日本初演)

モーツァルト:幻想曲 八短調 KV475

ヒナステラ:アルゼンチン舞曲 Op.2

リゲティ:《ムジカ・リチエルカータ》より 6つの楽章

モーツァルト:ピアノ・ソナタ第11番 イ長調 KV331(300)「トルコ行進曲付き」

グラナドス:《ゴイエスカス=恋をするマホたち》より(愛と死(バラード))

【1回券発売日】メンバーズ 7月21日(土) 一般 7月28日(土)

PROFILE 1977年エルサレム生まれ。6歳でアメリカ・イスラエル賞受賞。兵役後、ジュリアード音楽院で指揮とピアノを学ぶと同時に、R. グードに師事。2004年ジュリアード国際協奏曲コンクール優勝。06年にはSuedama アンサンブルを弾き振りしたモーツァルトの初期協奏曲録音(Vanguard Classics)をリリースし、『ル・モンド』等主要メディアから高く評価された。07年6月にNaiveレーベルよりソロCDリリース予定。<http://www.davidgreilsammer.com/>

©E. Hermant

Vol.4 Yu Kosuge



小菅 優

【日時】12月9日(日) 開演 15:00

【会場】彩の国さいたま芸術劇場 音楽ホール

【曲目】バッハ:インヴェンションとシンフォニア BWV772-801

リスト:悲しみのゴンドラ第1番・第2番、ピアノ・ソナタ

ノクターン「夢のなかに」

【1回券発売日】メンバーズ 9月1日(土) 一般 9月8日(土)

PROFILE 1983年東京生まれ。93年よりヨーロッパに住み、研鑽を積みながら次々と演奏活動を重ねる。2000年、ドイツ最大の音楽批評誌「フォノ・フォルム」でショパンの練習曲全曲録音に5つ星の評価を得る。02年に第13回新日録音楽賞、04年にアメリカ・ワシントン賞を受賞。06年8月にはザルツブルグ音楽祭で日本人ピアニストとして2人目となるリサイタル・デビューを果たし、大成功を収めた。第8回ホテルオークラ音楽賞受賞。 <http://www.yukosmos.com/>

【ピアノ・エトワール・シリーズ チケット(税込)】

● 4回セット券 S席セット12,000円 A席セット8,500円

※シリーズを通して同じ席を指定できる「マイ・シート」。お気に入りの席でお聴き比べいただけます。

● 1回券 S席3,500円 A席2,500円 学生A席1,000円 メンバーズ S席3,150円 Vol.1のみ発売中